4

ICPC 協議会

2010.4
↓
2011.3

みなと再生基本計画策定作業市民ワークショップ（ＩＣＰＣ・今治市・Ａ・Ｎ・Ｋ共同企業体との協働事業）

今回のワークショップは事前ワークショップとして、周辺自治会・商店街・将来の港利用者という形で市民の意見を集約する会を３回行いました。

市民ワークショップでは、「パブリックコンストラクション」の一環として、全国の建築学生が、今治市民の港への思いを具体的なイメージとして展開させ、市民とともに港の未来を考える。事前に行われた３回の事前ワークショップで提案された施設機能案を学生が具体的なとして発展させ、その現実性、利点と欠点などを市民が協議しました。

事前ワークショップ

第１回ワークショップ（７月２７日　美須賀コミュニティプラザ）対象者：中心商店街関係者
第２回ワークショップ（７月２９日　港湾ビル）対象者：みなと再生事業エリア周辺自治会等
第３回ワークショップ（８月５日　地場産業振興センター）対象者：海を起点として活動をしている方

学生ワークショップ　　８月２７日（金）～２９日（日）

３回の事前ワークショップにて話された内容をＡ・Ｎ・Ｋ共同企業体が持ち帰り、８つの機能グループに分類。学生（１グループあたり３人）は２７･２８日の事前作業でグループ事の機能のアイディアシート（パース図・スケッチ・類似事例の検索・今治らしさ・港らしさの検討）を用意した。

機能グループ名	事前WSにおける内容
公園広場	公園(8)／フリースペース(4)／スポーツ広場(7)／野外音楽場(2)／浮きコンコース(1)／駐車場(8)／駐輪場(3)
交流	魚市場＋レストラン・カフェ(8)／魚市場(2)／レストラン(2)／カフェ(2)／レンタサイクル(7)
海事	教室(2)／海事大学院(2)／海事資料館(5)／海事外車(1)／船舶関連ビジネス拠点(1)
観光	水族館(3)／展望台(3)／物産館(2)／資料館(2)／江戸時代の長屋(1)／海・道の駅(1)／記念館・美術館(1)／伝統芸能市場(1)／野間馬馬車のりば(1)／テーマパーク(1)／城下町街道(1)
情報発信	大学インフォメーション(1)／コミュニティFM(3)／エコパーク(1)／ギャラリー(1)／観光案内所(5)／B級グルメ(1)
市民活動	コミュニティセンター(1)／パブリックコンストラクション(1)／女性総合センター(1)／屋内フリースペース(1)／会議場(1)
健康福祉	温泉(2)／病院・高齢者住宅(1)／スポーツ施設(1)
船	船上プライダル(1)／海上ステージ(1)／釣り堀(3)／貸しボート・漕し船(3)／ヨットハーバー(4)／船上ホテル・ユースホステル(2)／観潮船(1)／クルージング(1)／マリンスポーツ体験施設(2)

市民ワークショップ　　８月２９日（日）

テーマ：聞かせて！知らせて！あなたの思い！

○事前 WS のまとめと機能グループの提示
　　Ａ･Ｎ･Ｋ共同企業体　西沢　大良
○学生によるアイディアシート発表
○フリータイム
　学生案に対する気づき・改善点・意見などポストイットカードに記入し、アイディアシートに貼り付ける
○市民によるトークセッション
　＊６名～８名の小グループにし、気になるテーマの所に着席
　＊ポストイットカードに書かれた内容を話あう。カードの中で“これは”という話題を掘り下げ話し合う。
○全体共有
○ＡＮＫからのメッセージ　Ａ･Ｎ･Ｋ共同企業体　原　広司

みなと交流ページェント（第１０回記念大会「瀬戸内スリーデーマーチ」との協働・連携イベント）１０月２３・２４日

みなとマルシェの実施

第１０回記念大会「瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ」の関連イベントとしてＩＣＰＣが行ったみなとマルシェを沖州広場にて開催要請を受け実施。

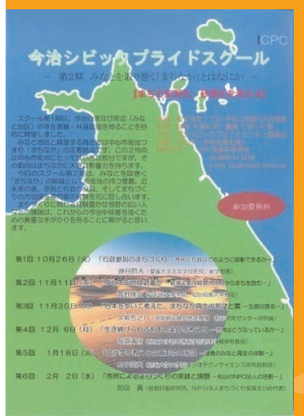
イベント横断チラシ

今回の記念大会では、『商人まつり』『日本丸　寄港』『タオルフェア』等同時開催。市民目線で考え、全てのイベントを網羅したチラシが必要と感じ、ＩＣＰＣにてチラシを作成。

交流イベント開催

象徴イベントとして「みなと交流ページェント」を開催。スリーデーマーチ参加者と今治市民が交流し、「もう一度ゆっくり今治に来てみたい」と思ってもらうために、イベントを開催。

イベントの象徴として内港周辺をペーパーランプ１００００個で彩る『光のページェント』を実施。

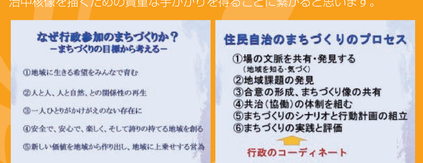


基本は人づくり
もたれあう地域住民から
支え合う地域住民へ

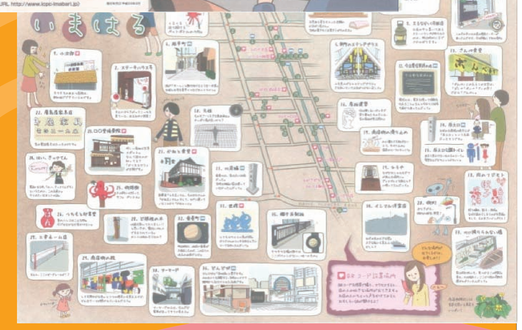
今治シビックプライドスクール（共通認識を広げる場づくり）

スクール第２期は、みなとを取巻く「まちなか」の総論として市街地の持つ意義、近未来の姿、市民と行政の役割、そしてまちづくりの方法論を専門家の経験を元に話し合います。

まちづくりに関わる経験豊かな視野の広い人々との議論は、これからの今治中核像を描くための貴重な手がかりを得ることに繋がると思います。



第１回　１０月２６日　「行政参加のまちづくり」講師：愛媛大学法文学部教授　藤目　節夫
第２回　１１月１１日　「中心市街地は必要か」講師：松山短期大学教授　青野　勝広
第３回　１１月３０日　「日本を歩いて考えた、まちなか再生の希望と罠」
　　講師：民間都市開発推進機構都市研究センター研究員　久繁哲之介
第４回　１２月　６日　「生き続けられる都市の条件を考える－世界はどうなっている」
　　講師：名城大学都市情報学部教授　海道　清信
第５回　　１月１８日　「協調型合意形成と小松島みなとまちづくり」
　　講師：徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部　山中　英生
第６回　　２月　２日　「地域住民の力をまちづくりに」
　　講師：特定非営利活動法人代表理事　前田　眞



―不思議・秘密・知りたくなぁる―いってこうわい　いまはる（商店街周辺の賑わい創出ツールの作成）

既存の商店街のマップとの徹底的な差別化→おもしろさ追求、イラストあらかじめ、まっぷを利用者＝ターゲット層を絞り、その人たちの感性に響くコンテンツ、デザインをこだわる受け手に届く、感情的な価値を盛り込んだ情報を掲載リサーチ担当に、子どもを起用することにより　→　等身大のコメントを引き出す

事前散策：１月３０日・コーディネーターと一緒に、商店街周辺を散策
第一回ワークショップ：２月１３日・まち歩き　・感想出し
第二回ワークショップ：２月１９日・まち歩きの振り返り　・意見出し　・アイデアシートの作成
第三回ワークショップ：２月２７日・アイデアシートの充実　・アイデア集のまとめ

目玉おやじ

UFO 発見

降りる所のない橋

アーケードが線路

可愛いマーク

女性のマークが可愛い

このマップ作りで参加者の皆が感じたことは
商店街周辺は『面白さの宝庫』・商店主の『話』は面白い・商店街には『いろいろな歴史』があるということです。